

# 平成27年度東北運輸局行政体験研修 (外国人留学生インターンシップ) 研修結果報告書

平成27年10月  
東北運輸局観光部国際観光課

# 平成27年度東北運輸局行政体験研修

## 行政体験研修(外国人留学生インターンシップ)の目的

- ・行政事務の体験を通じた外国人留学生のキャリア形成支援
- ・外国人目線での観光まちづくり及び行政施策反映

## 行政体験研修(外国人留学生インターンシップ)対象者(紹介)

李 慶達(り ちんだ) 中国国籍  
(東北大学大学院1年:法学研究科)



徐 ハナ(そ はな)韓国国籍  
(宮城大学3年:事業構想学部)



### 行政研究テーマ

訪日旅行市場の動向と課題を分析し、東北の観光の現状を理解した上で、新規観光客の誘致拡大にむけたターゲット別の戦略を検討。

### 行政研究テーマ

韓国人の海外旅行の動向、東北の観光の課題を分析し、東北地方の認知度向上にむけた訴求力のある情報発信の方法について検討。

# 平成27年度東北運輸局行政体験研修

## 東北運輸局行政体験研修オリエンテーションの受講(8月6日)

### 【受講項目】

- ・東北運輸局主要施策、サービス規律
- ・東日本大震災からの復興と課題
- ・観光施策の現状と課題



## 観光振興セミナーへの参加(8月5日)

じゃらんリサーチセンターが主催する「観光振興セミナー」に参加し、宿泊旅行の現状やビッグデータを活用した旅行者動向の分析手法、地域資源を活用した活性化事例について学びました。



# 平成27年度東北運輸局行政体験研修

## 大崎市内視察(8月13日)

鳴子温泉郷、道の駅、酒蔵などを視察し、外国人観光客受け入れにあたっての取り組みや課題を調査しました。



## 仙台市内視察(8月27日)

観光地では多言語表記や多言語音声ガイド、商店街では多言語表記や免税店の普及状況を調査しました。



# 平成27年度東北運輸局行政体験研修

## ビジット・ジャパン東北ブロックマーケット研究会参加(9月1日)

東北運輸局、東北観光推進機構が主催するビジット・ジャパン東北ブロックマーケット研究会に参加しました。

研究会では、平成28年度のビジット・ジャパン地方連携事業(※1)ブロック方針や広域観光周遊ルート(※2)、中国市場とオーストラリア市場の現状について理解を深めました。

※1 広域で連携した訪日プロモーションを地域と国が協同で実施する事業。

※2 複数の都道府県を跨がって、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地を、交通アクセスも含めてネットワーク化して、外国人旅行者の滞在日数に見合った、訪日を強く動機づけるルート。



## ビジット・ジャパン地方連携事業の情報発信検証打合せ(9月10日)

ビジット・ジャパン地方連携事業で海外向け情報発信の一環として、SNSを活用した取組みを行っています。

東北観光推進機構と連携して取り組んでおり、テレビ会議を通じて関係者とともに前月までの事業実施結果について報告を受けるとともに、今後の実施方針について意見交換をしました。



# 平成27年度東北運輸局行政体験研修

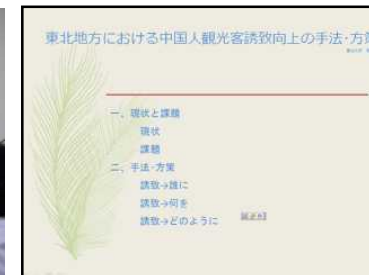
## 観光復興の現状視察(9月24日)

女川町の「きぼうのかね商店街」などを視察し、改めて震災の大きさを再認識するとともに、復興にかける熱い想いを感じることができました。



## 成果発表会(9月28日)

東北運輸局において、行政体験や視察、関係者との意見交換、様々なセミナー等に参加し、学習したなかで、現状や課題を整理し、研究成果として発表しました。



# 平成27年度東北運輸局行政体験研修



## 行政体験研修を終えて【李 慶達】

行政体験研修に参加する前、観光はただの遊びというイメージしかなく、なぜ観光部が東北運輸局に属しているのかも疑問でした。しかし、研究発表の為、勉強していく中、交通機関は旅客の運輸にとっては不可欠であること、そして、観光は交通、宿泊、商店、食など様々な面で経済に影響与えていることを知ることができ、自分の疑問の答えも見つけることができました。

普段歩き慣れている仙台市内も、外国人観光客の目線で見ると、外国人観光客にとって必要な無料Wi-Fiが整備されていたり、免税などの看板は目に留まりやすい場所に貼られているなど、様々なところで国際観光の施策が講じられていることを実感しました。

また、女川町の視察では震災復興の現状を見ることができました。仮設商店街の移転先として女川駅前前の建設工事が進んでいて、斬新でおしゃれなトレーラーハウスの宿泊施設も近くにあり、美味しい女川丼もあって、そして何より一番驚いたのは今年新しくできた女川駅内に温泉があることです。震災の傷跡が未だに残っている中、復興が着実に進んでいること、そして、女川が観光の町に変貌しようとすることを感じました。

短い時間の行政体験研修でしたが、自分の専門である法律から離れて、観光を単なる遊びではなく、交通や地方行政、地方住民、外交など、様々なアクターが協同で行う総合的なプロジェクトとしての角度から見ることができました。

また、研究発表にあたり、職員の皆さんが日々積み上げてきて綿密なデータが大変役に立ちました。職員の皆さんの仕事ぶりや、観光に関する新しい見方など色々と勉強になり、大変有意義な経験となりました。

# 平成27年度東北運輸局行政体験研修



## 行政体験研修を終えて【徐 ハナ】

行政研修体験を始めるときには、「私によくできるかな」、「難しくないかな」、「でも、面白そう」など、いろいろな心配や期待感がありました。

実際、研修中の研究では、国別訪日外国人旅行者数や韓国人の出国統計を調べると、韓国人の訪日旅行者数は、中国とか台湾、そして、最近増えたベトナム人より少ないと思っていましたが、そうではなく韓国の訪日旅行が多いことに驚きました。また、学校で経験したグループでの研究とは違い、「一人で資料を調べ、スライドの構成をつくり、一人で発表する」ことがどのくらい難しいか、そしてどのくらい時間が必要かということを感じました。

大崎市内視察では、4年くらい宮城県に住みながらも知らなかったいろいろな場所に行く機会になってすごくよかったですと思いました。残念ながら、雨がすごくて大変でしたが、雨の日には雨の日なりの風情があって楽しかったです。温泉の湯で、ゆで卵をつくって食べたことと、こけしの絵付け体験をしたことが一番記憶にのこりました！

女川町には、私は震災直後に行ったことがありましたが、当時と比較するよい機会になりました。私が、思っていたより復興の進みが早くて驚き、震災で使えなくなった土の代わりに使える土や空間を利用していろいろな施設を建てるなんてすごいと思いました。特に、女川駅の中にある温泉が一番印象に残りました。また、女川の海鮮丼おいしかったです！

最後に、今回の研修を通して、いろいろなことを見て、学んで、体験して、経験することによって一段階成長したと感じます。東北運輸局の方々が優しくしてくれたおかげで、研修を無事に終わらせることができたと思います。本当にありがとうございました。